

行政評価アドバイザー会議を終えて ～行政評価アドバイザーによるコメント～

平成29年9月5日

五味アドバイザー

人の仕事を横から拝見するというのは、勉強にもなりますし、目につくこともありますし、5年間良い経験をさせていただいたなと思います。

以前からお話させて頂いていたことですが、テーマとして取り上げられる事業は、予算の組み立てによるものだと思うのですが、取り上げられた1つの事業ではなく、事業の中の一部分がここに一件一件としてのぼってくるんですね。そうすると、そこだけを取り上げて考えてくださいといわれても、なかなか難しいことでありまして、それを取り巻く横断的な事業がどういうものかというのがよく分からないままに、断片的に評価して結果を出しているということです。やはり、予算を立てる段階から、1つのまとまりとして事業を考えていただくと、もっと分かりやすく、効率の良い、県民のためになる事業が行えるのではないかなという感想を持ちました。

ありがとうございました。

諸平アドバイザー

今年も引き続き一県民としての疑問を、それぞれの施設や所管課に質問させて頂きました。それぞれの担当課の皆様は、行政評価の目的の一つである「県民に対する説明責任」についてしっかり果たしてくださいました。その分、資料がとても多くて、十分読み込みが出来たかという思いがありますが、私のつたない質問にも真摯に答えて頂きましたことに、この場をお借りして御礼を申し上げたいと思います。ありがとうございました。

小口アドバイザー

3年目ということで、だいたい同じような感想になりますけれども、もう、段々いま、諸平アドバイザーからお話があったように、資料の段取りも非常によくなってきて、良かったんですが、かなり読み込むのは大変でした。

印象として、何点か申し上げますけれども、各担当部署で、本当に改善ということで努力している姿勢はよく分かりますし、伝わってきますけれども、多くの場合が、今までのやり方とか業績・結果をもとに少し改善するというふうなものが多くてですね。本来の事業の目的、施設の目的から考え直すということはあるまい、というふうな印象を受けております。

それからもう一つ、追加質問で多くの場合が、他県の同じような状況や施設と比較してくださいというふうな願いをする訳ですけれども、日常からこういうことをあまりされてないな、という印象を持ちました。で、比較してのコメントを聞きますと、他県とほぼ同じだからいいという評価がほとんどになっていまして、より低いコストで、あるいは人員で、効率的に成果を挙げているところに学ぶというふうな姿勢はちょっと少ないが残念な気がいたします。

それと、成果目標についてですけれども、先ほどいくつかお話をしましたけれども、事業努力の結果が直接成果目標に結びつかないような評価、目標ってというのは結構多いなというふうに感じました。

目標達成の手段を考えて、その手段を講ずれば改善できる成果目標を、もっと近いところの目標というものの設定を是非お願いします。

それからもう一つですけれども、県の事業・施設のなかで、特に一番重要視しなければいけないのは、安全の確保だというふうに思うんですけれども、ちょっと一部で、まだ安全についての優先順位が低いのかなというふうに思われる部分もありましたので、これを是非今後の行政のなかで考えていただきたいと思います。

今後、このような業務の見直しというのは、やり方を変えながら続けていかれるんではないかなと思いますけれども、多分外部の意見というのは、恐らく聞いておいて決してムダにはならないと思いますので、外部の意見を取り入れるというふうな仕組みを是非残して頂きたいと思います。いろいろありがとうございました。